気付きにくいすい臓がん
まずはセルフチェックから

すい臓がんは、初期には症状が現れにくく、発見されたときには進行しているケースが少なくありません。市は市内の関係機関と連携して、すい臓がんの早期診断を目指す「高槻市すい臓がん早期診断プロジェクト」に取り組み、リスク因子が確認できるチェックリスト（下図）を作成しました。まずはご自身のリスクを確認してみましょう。 ID 182605

問合 健康医療政策課／TEL661-9330



プロジェクトリーダー
高槻市医師会　理事
藤田胃腸科病院　院長
本郷 仁志さん

早期発見が治療の可能性を広げます

すい臓がんの死亡者数は、肺がん、大腸がんに続いて第3位。しかも他のがんに比べて、見つかったときにはステージ4に進行している割合が高いです（グラフ1）。

早期に発見することが、治療の可能性を広げ、その後の生存率の向上につながります（グラフ2）。すい臓がんリスクの高い人は早く自覚し、必要な検査を受けることが重要です。

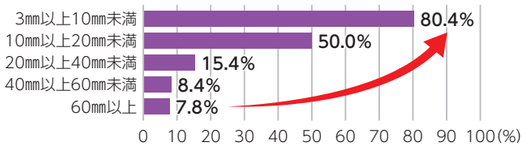
セルフチェックを行って、2点以上の場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

ステージ4で見つかる割合（グラフ1）



出典：国立がん研究センター がん情報サービス「院内がん登録2023年全国集計」

すい臓がんの大きさ別5年生存率（グラフ2）



出典：日本膵臓学会「Japan Pancreatic Cancer Registry; 30th Year Anniversary」

30秒セルフチェックで すい臓がんのリスクを把握

高槻オリジナル

低リスク因子

- ☐ **喫煙歴**　現在もしくは過去に喫煙している　**0.5点**
- ☐ **上腹部・背部痛**　みぞおち・背中に痛みがある　**1点**
- ☐ **大量飲酒**　日本酒換算で3合／日以上　ビール換算で500ml缶3本／日以上　**0.5点**
- ☐ **体重減少**　急激に体重が減少した　**1点**
- ☐ **BMI 30以上**　肥満に該当する　※BMI算出方法　体重(kg)÷身長(m)²　**0.5点**
- ☐ **すい臓がんの家族歴**　親・兄弟姉妹にすい臓がんが1人　**1点**

高リスク因子

- ☐ **黄疸**　肌や白目が黄色っぽい　**2点**
- ☐ **すい臓の異常**　過去にすい臓の異常を指摘された　**2点**
- ☐ **すい炎の経験**　急性すい炎・慢性すい炎にかかったことがある　**2点**
- ☐ **糖尿病**　最近、糖尿病と診断もしくは血糖値が急に悪くなった　**2点**
- ☐ **すい臓がんの家族歴**　親・兄弟姉妹にすい臓がんが2人以上　**2点**

高槻の医療連携が実現する 精密な検査と高度な医療

本プロジェクトでは、セルフチェックを起点に、市内の医療機関が連携し、超音波内視鏡検査（右欄）などの精密検査を受けることができる体制を整えています。

市内には高度な医療を提供できる医療機関が多いことから、検査から診断、必要な治療までをスムーズにつなげることで、早期の発見と適切な治療を目指します。

超音波内視鏡検査

超音波内視鏡検査（EUS）は本プロジェクトの要。先端に高解像度の超音波装置（エコー）を備えた内視鏡を口から挿入して、臓器を近くから観察します。

①30秒セルフチェック



リスク因子を自分でチェック

かかりつけ医に相談も



気になるときは、かかりつけ医へ

2点以上

②推進医療機関を受診



推進医療機関（ID 182632）は、腹部エコーやCTなどの検査を行い、すい臓がんのリスクを評価できる医療機関です。より精密な検査を必要とする場合は、中核医療機関を紹介します。

精密な検査と治療へ

③中核医療機関を受診



中核医療機関（ID 182634）は、EUSなどの精度の高い検査や、必要な治療が実施できる医療機関です。

※保険診療のため一部負担金（自己負担額）が発生します。また、診療・検査などは医師の判断で行われます

すい臓がんの早期発見で 健康医療先進都市たかつきを推進

すい臓がんは罹患（りかん）数・死亡数が増加している一方で、有効な対策とされる早期発見が十分に進んでいないことが課題となっています。そこで、「健康医療先進都市たかつき」のがん対策プロジェクトとして、すい臓がんの早期診断に取り組むことになりました。市民の健康を支え、日本の模範となるプロジェクトにしていきたいと考えています。



健康医療先進都市たかつきの取り組み

関係機関との「健康医療先進都市たかつき」連携協定の締結を皮切りに、市民の健康課題の解消に取り組んでいます。

- 令和6年2月　「健康医療先進都市」推進のための連携に関する協定を大阪医科薬科大学・市医師会・市歯科医師会・市薬剤師会と締結
- 4月　骨髄移植やドナー登録を推進するため「骨髄等移植ドナー助成金事業」を開始
- 6月　がん治療によって外見の変化を受けた人に対して、治療と就労・就学など社会生活の両立を支援するため「アピアランスケア助成事業」を開始
- 10月　在宅で通院が困難な人への「訪問歯科健診事業」を開始
- 12月　「心不全・高血圧対策プロジェクトチーム」と「がん対策プロジェクトチーム」を設置
- 7年4月　成人ピロリ菌検査の対象を20代へ拡大
- 8年4月　がん対策プロジェクトチーム内に「すい臓がん専門部会」を設置し、すい臓がん早期診断プロジェクトの事業化に向けた検討を開始
- 6月　若年がん患者が住み慣れた自宅で安心して生活を送ることができるように、在宅介護サービスの利用料などを助成する「若年がん患者在宅療養生活支援助成事業」を開始
- 8月　血圧高値者の割合低下などを目標に「はにたん血圧みまもりノート」「心不全シール」を作成・配布
- 11月　すい臓がん早期診断プロジェクト事業を開始